

第20回大阪府安全なまちづくり推進会議総会【概要】

1 日時

令和4年6月17日（金）午前11時から午後0時まで

2 場所

大阪府中央区大手前3-1-43 ホテルプリムローズ大阪「鳳凰の間」

3 開会挨拶

○ 大阪府知事の挨拶（要旨）

- 令和3年中における大阪府の刑法犯認知件数は、約6万3千件と前年より約6千件減少し、着実に治安は改善されており、これもひとえに皆様が「オール大阪」の体制で安全なまちづくりに取り組まれてきた結果であると考えている。
- しかしながら、還付金詐欺をはじめとする高齢者を狙った特殊詐欺は前年より約400件増加しており、本年に入ってもさらに増加傾向となっているほか、子供や女性を狙った犯罪等多発するなど、予断を許さない状況となっている。
- 大阪府としても、安全なまちづくりにしっかりと取り組み、2025年の大阪・関西万博の成功に向け、「安全なまち大阪」を実現してまいりますので、引き続き、ご協力と積極的な取組をお願いしたい。

4 決議事項

(1) 令和4年度活動計画等

○ 目標・取組重点・活動の基本方針

<目 標>

府民が安心して暮らせる「安全なまち大阪」の確立

<取組重点>

- 子供や女性を狙った犯罪の被害防止
- 特殊詐欺の被害防止
- 自動車を狙った犯罪の被害防止

<活動の基本方針>

- 府民の自主防犯意識の高揚と自主防犯行動の促進

構成員間の連携を強化し、犯罪被害防止に向けた迅速かつ継続的な情報発信等の広報啓発活動、防犯器具の普及促進、特殊詐欺被害防止に有効な「ATMで携帯電話を使用しない、させない」気運の醸成などに取り組み、府民の自主防犯意識の高揚と自主防犯行動の促進を図る。

- 地域住民と連携した防犯ボランティア活動の活性化

地域安全センター等の防犯ボランティアの活動拠点を中心とした地域の防犯ネットワークの活用と日常生活を通じた見守り活動の普及、地域安全情報や物品の提供等の活動支援を行い、防犯ボランティア活動の更なる活性化を図る。

- 防犯カメラの設置等による防犯環境整備の促進

公共空間、特に通学路、公園、駐車場等の安全を確保するため、関係機関の連携を強化して、防犯カメラの設置拡充を推進するなど、犯罪の起きにくい防犯環境の整備を促進し、その取組を周知することにより安心感の醸成を図る。



● 少年非行防止に向けた取組の推進

少年の非行防止・健全育成のため、学校・教育委員会・自治体・地域住民による社会を挙げた取組により、学校外における街頭補導活動や立ち直り支援を行うとともに、健全育成を阻害する有害環境の浄化を図る。

(2) 大阪府安全なまちづくり大使の活動状況及び再委嘱

平成 29 年度から 5 年間にわたり、若者から高齢者まで幅広い人気とともに、強力な発信力のある吉本興業所属の西川ファミリーの皆様を「大阪府安全なまちづくり大使」に委嘱している。

昨年度は、新型コロナウイルスの影響により、西川ファミリーの皆様には、防犯キャンペーン等にご参加いただくことができなかったが、多忙なスケジュールの中、ご協力をいただき、昨年 6 月、府民に向けた防犯啓発動画を作成した。

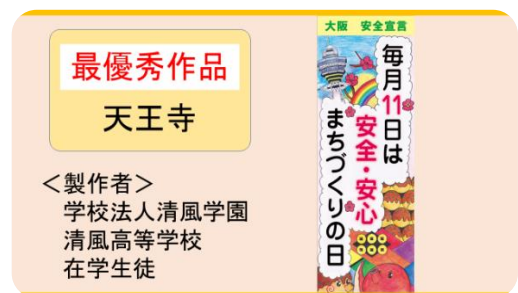
今年度も引き続き、各種犯罪の被害防止と自主防犯意識の気運醸成の牽引役、発信役として、西川ファミリーの皆様を「大阪府安全なまちづくり大使」としての再委嘱と、この 1 年の功績を讃えて、感謝状の贈呈について、審議の結果、満場一致で承認を得た。



5 報告発表

(1) 平野 護 大阪府防犯協会連合会会長の報告発表（要旨）

- 令和 2 年 6 月以降、毎月 11 日を「安全・安心まちづくりの日」とした、新たな取組が始まっている。
- しかしながら、コロナ禍の影響などにより、日々防犯活動を行っている防犯ボランティアの方々の活動が制限され、この取組の認知・浸透が順調に進まなかったため「安全・安心まちづくりの日」にちなんで「のぼり旗」の製作を企画した。
- のぼり旗のデザイン製作の目的は、「安全・安心まちづくりの日の取組を推進するための防犯啓発グッズ等がなかったこと」、「各地区・地元の連携強化を図ること」、「広く安全・安心まちづくりの日の浸透を図る、その切っ掛け作りを行うこと」の 3 点である。
- 令和 4 年 3 月 11 日に大阪府警察本部において、「安全・安心まちづくりの日」のぼり旗デザイン表彰式を開催し、「安全・安心まちづくりの日」をテーマにデザインされた「最優秀作品」等 5 作品の作者に対して表彰を行った。
- 今回の「のぼり旗」デザインは、66 の警察署と 66 の防犯協（議）会を窓口として募集を行い、応募 56 作品の中から選出した「最優秀作品」を府下統一「のぼり旗」として配布し、イベントでの活用やお寺の境内、大阪府夕陽丘庁舎等で掲示を行っている。
- そのほか、同デザインにより、府下 66 の警察署と 647 の「交番・駐在所」用の「懸垂幕」も作成・配布して活用している。今回の取組により、府民の皆様への防犯への思いが、高揚するきっかけとなることを願っている。



(2) 平山 信幸 府民安全対策課長による
「ストップ！ATMでの携帯電話」運動の提案について（要旨）

- 大阪府の特殊詐欺情勢は、認知件数・被害金額ともに前年を上回っており、なかでも還付金詐欺認知件数は全体の約53%を占め、本年に入っても還付金詐欺の発生は止まらず、危機的な情勢となっている。
- この還付金詐欺の手口を簡単に説明すると、犯人は市役所職員等を名乗って、「保険料の還付金があります」、「今日中ならATMで手続きができます」などと、言葉巧みに被害者を銀行等のATMに誘導させ、その後、ATMに到着した被害者に対し、携帯電話で指示し、振込操作をさせる手口をいう。
- したがって、携帯電話で会話をしながらATMを操作している高齢者の方に、誰かが声を掛けることで、詐欺を未然に防ぐことができる。
- 還付金詐欺の被害防止を図るために「ATMを利用する時は、携帯電話で通話をしないこと」、「ATMで携帯電話で通話している高齢者がいれば、声を掛けて通話をやめさせること」を府民の常識として定着させるために、「ストップ！ATMでの携帯電話」運動を推進することを提案する。
- ATMで携帯電話で通話している高齢者を見かければ、警察官・金融機関職員・コンビニ店員はもちろん、府民の方が「詐欺の被害者ではないか」と気付き、自然に声掛けができるような防犯意識の高い社会を目指していく。
- 官民一体となった「ストップ！ATMでの携帯電話」運動を強力に推進し、声掛けが社会常識となるよう、広報啓発活動にご協力をお願いしたい。



6 野村 護 大阪府警察本部長による総括（要旨）

- 昨年の刑法犯認知件数は前年に比べて大きく減少するなど、大阪の治安は、着実に改善していると認識している。
- しかしながら、昨年末に発生した北新地ビル放火殺人事件など、社会を震撼させる凶悪事件の発生は後を絶たず、未だ、府民の平穏な日常生活が確保されているとは言い難い状況である。
- また、特殊詐欺については、認知件数、被害金額がともに増加傾向にあるなど、極めて厳しい情勢が続いており、喫緊に取り組むべき重要な課題となっている。
- 府警ではこの春、検挙対策をより一層強化するため、特殊詐欺捜査課を新設するなど、特殊詐欺の撲滅に向けて一丸となって取り組んでいる。
- また、還付金詐欺の被害防止を強力に推進するため、官民一体となった「ストップ！ATMでの携帯電話」運動を推進し、「ATMでの携帯電話の通話は、しないさせない」ことを社会の新しいルールとして定着させたい。
- 引き続き、府民が安心して暮らせる「安全なまち大阪」の実現に向け、更なるご理解とご協力を賜りたい。

7 大阪府安全なまちづくり大使への感謝状贈呈及び再委嘱式

- 西川きよし氏、ヘレン氏、忠志氏、かの子氏のファミリー皆様にご出席いただき、知事から昨年一年間の功績を讃え『感謝状』の贈呈を行った。
- また、今年度も「大阪府安全なまちづくり大使」としてお力添えをいただくべく、知事から委嘱状の交付を行い、大阪府警察本部長からタスキの贈呈を行った。



- 西川きよし大使から、
 - ・ 引き続き、大変な大役を拝命し、家族はもとより大阪府民の皆さんと一緒に力を合わせて、世のため人のために頑張りたい。
 - ・ 怖いニュースがだんだんと少なくなってきた、少しずついい大阪になってきているのかなと思うと、嬉しい。
 - ・ しかし、ここのところ特殊詐欺が多いので、ATMの前でご高齢の方を見かけたら、是非『大丈夫でっか？』と、大阪の情の厚いところをお願いします。
 - ・ 今こそ小さなことからコツコツと頑張っていきたいです。等と決意表明をしていただいた。
- 大使の決意表明を受けて、知事から
 - ・ きよし師匠、ヘレンさん、忠志さん、かの子さん、今年も大阪府安全なまちづくり大使にご就任いただきありがとうございます。
 - ・ 現在、大阪の治安は改善されてきていますが、特殊詐欺、還付金詐欺が非常に増えてきており、本日の総会の中で、「ATMで携帯電話をしながら操作しているおじいちゃん、おばあちゃんには声を掛けていこう」という方針が決まりました。
 - ・ そして、安全な大阪を実現していくというなかで、西川ファミリー皆様のお力をお借りしたいと思っておりますので、今年一年よろしく願いいたします。等と謝辞と激励を送った。

8 大使による「ストップ！ATMでの携帯電話」運動についてのご発声

- 大使に就任された西川きよし氏、ヘレン氏、忠志氏、かの子氏が声を合わせ「ストップ！ATMでの携帯電話」のご発声をいただいた。
- また途中、知事も参加し、会場の全員で「ストップ！ATMでの携帯電話」を唱和した。
- 最後に知事の提案で、大使の皆様と知事、会場の全員で「ストップ！ATMでの携帯電話、小さなことからコツコツと！」と声を揃えてのご発声をいただいた後、解散した。

以上